

物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

事例番号 99

発生場所	病室	精神・意識障害の有無	リスク
発生場所 (その他)			
関連したもの	窓	発生内容の分類	C. 不適切な環境設定・維持管理不足によるリスク
		離院・徘徊	

発生内容

セキュリティ

概要

4階病棟の患者が自室のベランダにいるところを発見した。患者のもとへ向かい、誘導し非常口から自室に戻した。

要因

1. せん妄のためナースコールを押せず離床センサーを使用していたが、離床センサー設置と反対側（窓側）から降りるスペースがあった。
2. 62歳 177cm男性（窓枠設置位置は床下より93cmに窓手前に30cmの天板があり）乗越えられる体格であった。
3. ADL自立。血液検査結果を経過観察目的で入院継続していた。
4. 窓は10cmほどしか開かない設定であったが、全開になった。
5. 室内には足台となりうる面会者用の椅子が1脚常設している。（足台として使用したか不明）

対策

1. 全館の窓開閉可動域を調査を実施し、最大開放10cmに修正した。
2. 家族が協力し付き添った。
3. 離床センサーの設置場所をアセスメントした。
4. 入院継続が必要か否か、医師を交えてアセスメントした。

参照

